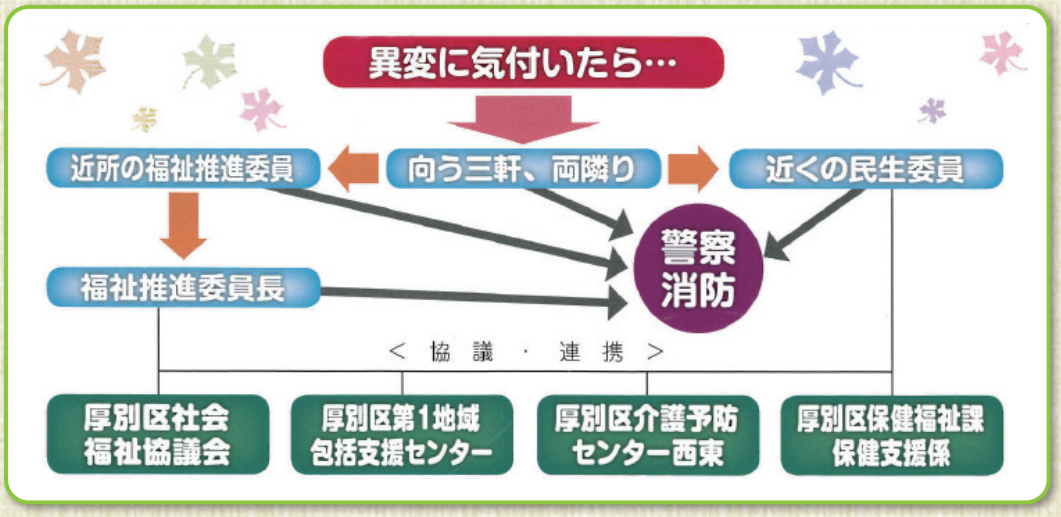
厚別東地区 小野幌ニュータウン町内会福祉推進委員会

◆見守り体制



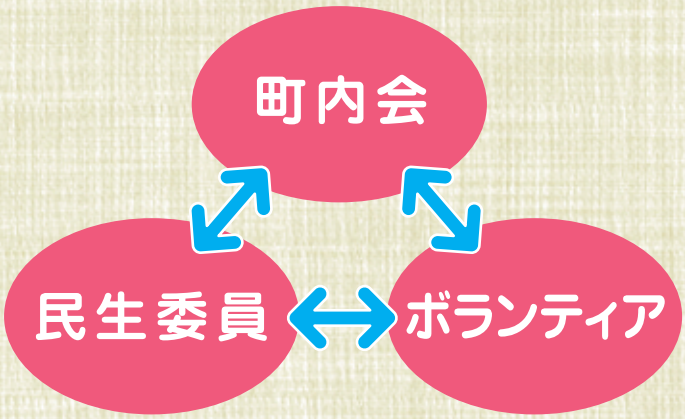
小野幌ニュータウン町内会は向こう三軒両隣でお互いが助け合う『近助』という言葉をもとに、ご近所同士助け合い、笑顔で過ごせるまちづくりに取り組んでいます。その取り組みの１つとして、町内会に住む 75 歳以上のお一人暮らしの高齢者を対象に、福祉推進委員が見守り安否確認を行っています。

実際に活動者からは、「最近なかなか顔を見なくなり心配な方がいる」というような情報が福祉推進委員会によせられ、上記のような体制をもとにその人の安否確認を行いました。

よせられた情報をもとに、公的機関が関わることで少しでもその方に携わる方が増え、今でも安心して自分の地域で暮らしています。

青葉地区 青葉13町内会 防災福祉推進委員会

◆見守り体制



町内会の高齢化や一人暮しの方が多くなってきたことから、地域における見守り体制の構築を課題として、町内会・民生委員・ボランティアが協力して、防災福祉推進委員会の活動がスタートしました。

①町内会員へアンケートを実施し、希望を調査
②高齢者のご近所の方に、ボランティアを依頼
③平成２７年５月～、見守り活動スタート

見守り記録を活用した取り組み

記入マーク
◎ 訪問
○ 外で見かけた
Ｔ 電話で安否確認

４月		５月	
1	◎	1	
2		2	○
3	T	3	
4		4	

安否確認できた日のカレンダーに印を付けます

活動者の声

●ゴミだし、回覧版や降雪時に自然な形で見守り活動をしています。
●見守り活動がいつまでも地道に行われていくことが肝心！
●いざという時は、遠くの親戚より、ご近所が頼りになります。